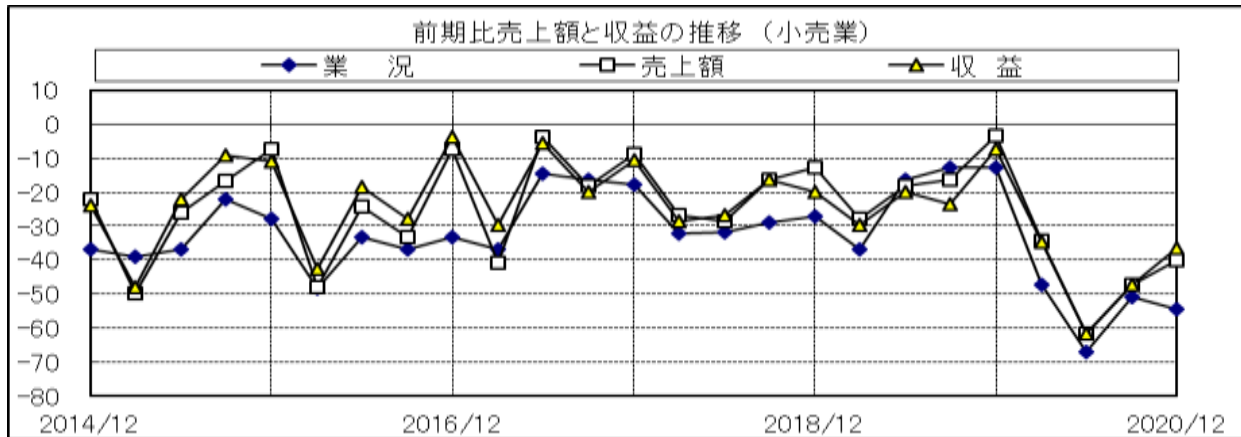


## 小売業 55企業（回答率 100%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-67.2	-50.9	-54.5	-63.6
売上額	-61.8	-47.3	-40.1	-52.7
収益	-61.8	-47.3	-36.4	-49.1

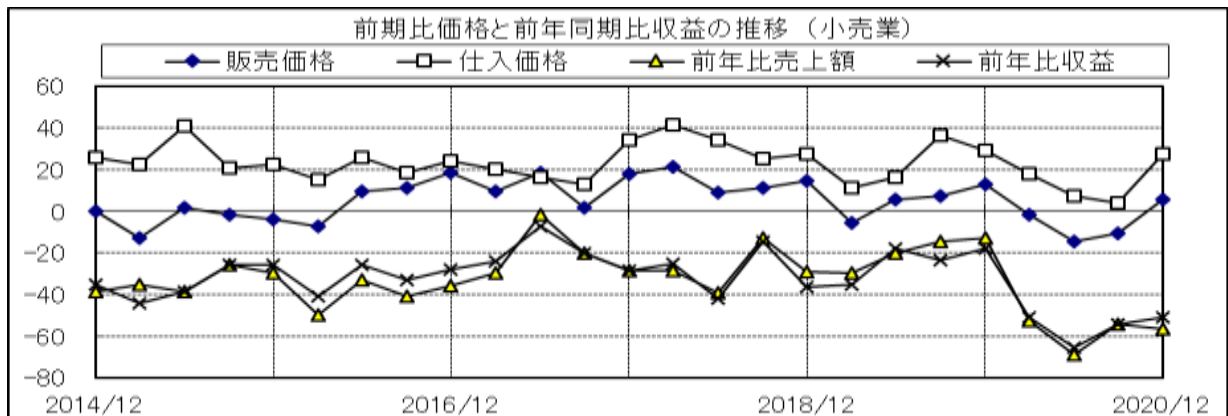
今期の業況判断 D. I. は△54.5 で、前期比 3.6 ポイント下降した。前年(△12.7)比 41.8 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内が最も高く、次に様似、浦河、三石、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△40.1 で、前期比 7.2 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△36.4 で、前期比 10.9 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	-14.5	-10.9	5.4	-1.8
仕入価格	7.2	3.6	27.3	14.6

販売価格判断 D. I. は 5.4 で前期比 16.3 ポイント上昇、前年(12.7)比 7.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 27.3 で前期比 23.7 ポイント上昇、前年(29.1)比 1.8 ポイント下降した。業種別の販売価格は、衣料は下降、食料・家電が上昇。仕入価格は、衣料、食料が上昇、家電は横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-11.0	-10.9	-1.8	-3.6
人手状況	-16.4	-14.6	-18.2	-12.7

残業時間判断 D. I. は△1.8 で、前期比 9.1 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△18.2 で、前期比 3.6 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

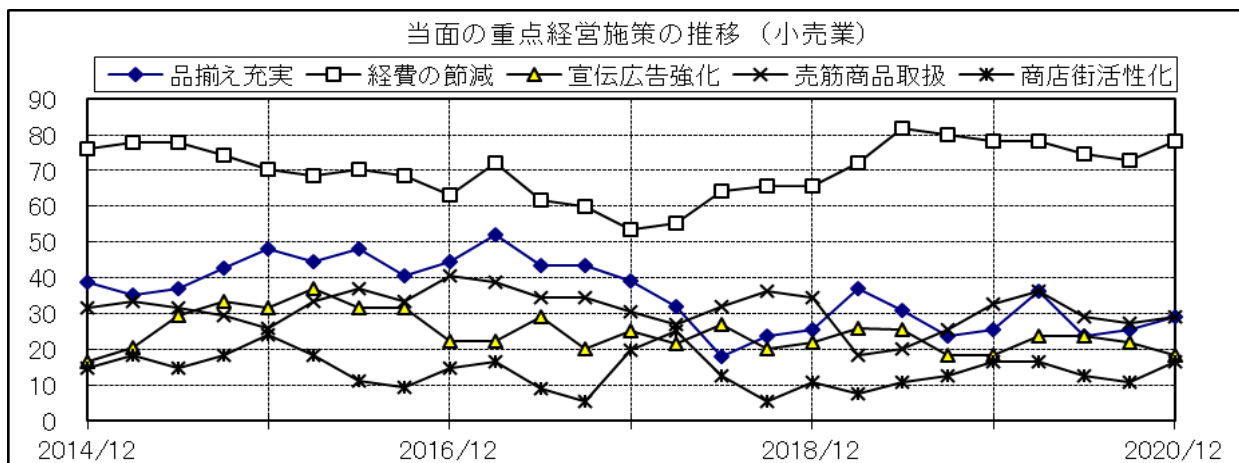
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.7$ で、前期( $\Delta 16.3$ )比3.6ポイント上昇した。

設備実施企業割合は10.9、前期(7.3)比3.6ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が72.2%と最も多く、次に「商圏人口減少」50.0%、「大型店競合」27.8%、「同業者競合」24.1%、「取引先減少」・「地場産業衰退」14.8%、「販売商品不足」9.3%・「人手不足」・「利幅縮小」・「商店街集客力低下」が5.6%、「値上り要請」3.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が78.2%と最も多く、次に「品揃え改善」・「売れ筋商品取扱」が29.1%、「宣伝広告強化」18.2%、「仕入先開拓」・「商店街活性化」が16.4%、「新事業開始」7.3%、「店舗設備改装」・「人材確保」・「教育訓練強化」が5.5%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 63.6$ と、今期比9.1ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 52.7$ と、今期比12.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 49.1$ と、今期比12.7ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 1.8$ と、今期比7.2ポイントの下降を見通している。

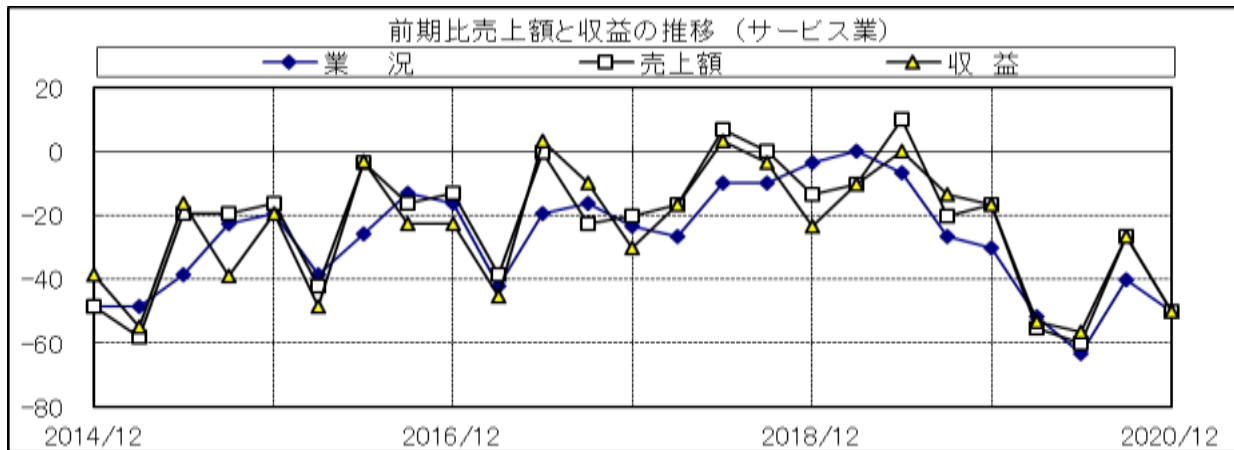
予想仕入価格判断D. I. は14.6と、今期比12.7ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-63.3	-40.0	-50.1	-56.7
売上額	-59.9	-26.6	-50.0	-43.3
収 益	-56.6	-26.7	-50.0	-46.7

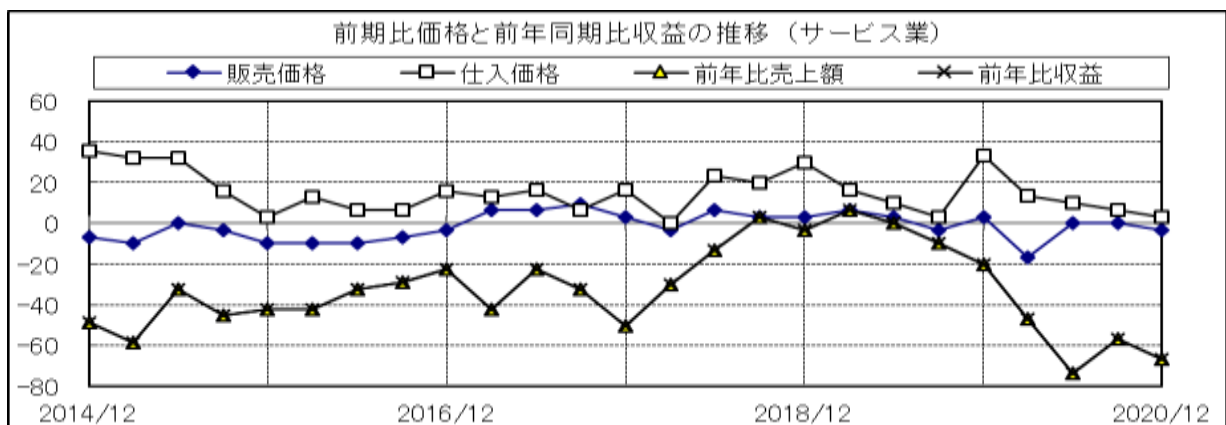
今期の業況判断 D.I. は△50.1 で、前期比 10.1 ポイント下降、前年(△30.1)比 20.0 ポイント下降した。地区別の D.I. は高い順に、静内が最も高く、次に広尾、三石、様似、浦河と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△50.0 で、前期比 23.4 ポイント下降した。収益判断 D.I. は△50.0 で、前期比 23.3 ポイント下降した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	0.0	0.0	-3.3	-6.7
材料価格	10.0	6.7	3.4	-6.7

料金価格判断 D.I. は△3.3 で前期比 3.3 ポイント下降した。前年(3.3)比 6.6 ポイント下降した。材料価格判断 D.I. は 3.4 で、前期比 3.3 ポイント下降、前年(33.4)比 30.0 ポイント下降した。業種別の、料金は、旅館、洗濯理美容は横ばい、自動車整備は下降。材料は、旅館は横ばい、洗濯理美容が下降、自動車整備は上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-10.0	-13.4	-13.4	-6.7
人手状況	-13.3	-13.3	-19.9	-6.6

残業時間判断 D.I. は△13.4 で、前期と同水準となり、残業時間に変動はなかった。人手過不足判断 D.I. は△19.9 で、前期比 6.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

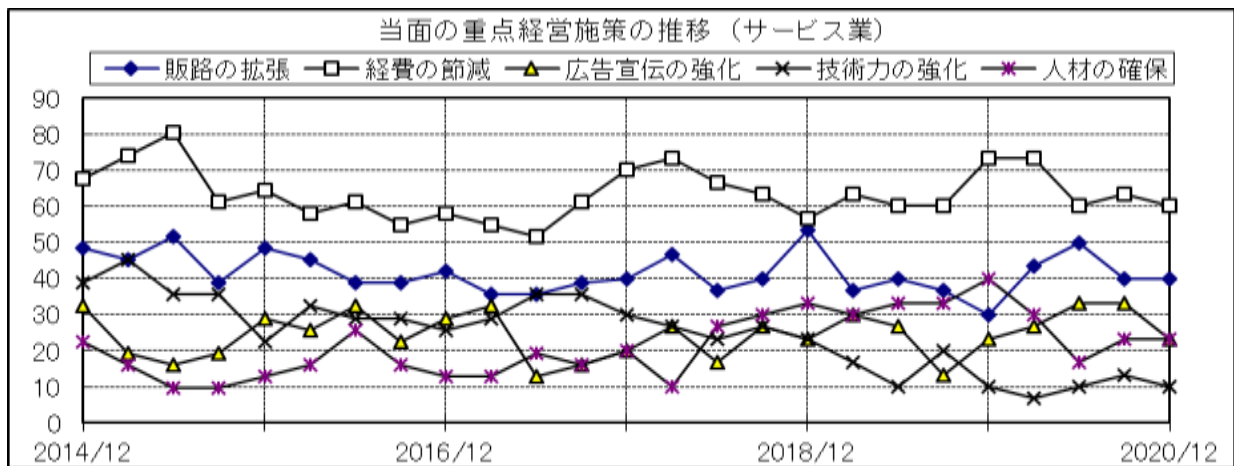
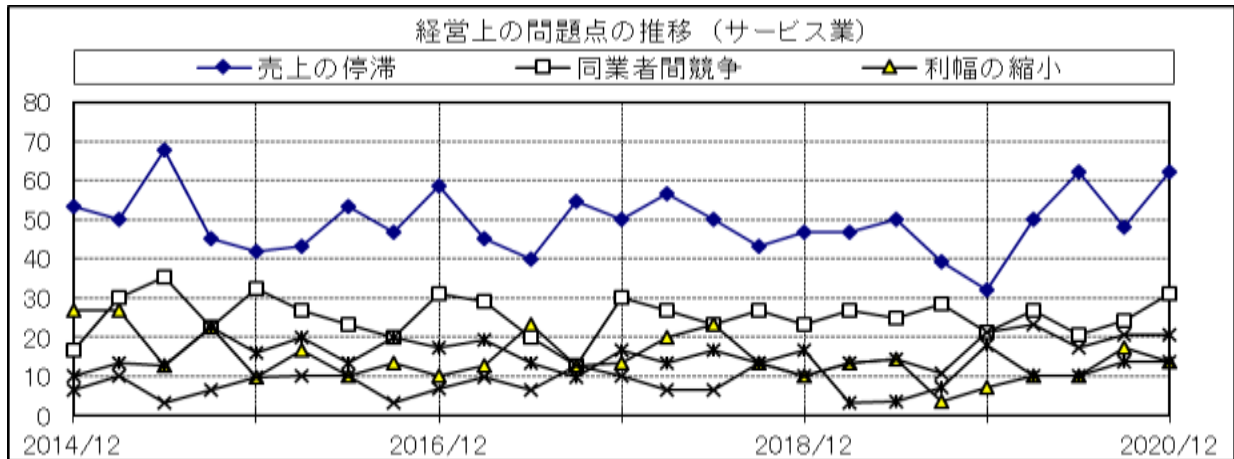
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は $\Delta 3.3$ で、前期( $\Delta 6.7$ )比3.4ポイント上昇した。  
 設備投資実施企業割合は10.0で、前期(13.3)比3.3ポイント下降した。設備投資は、前期4社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、1社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が62.1%と最も多く、次に「商圏人口減少」55.2%、「同業者競合」31.0%、「人手不足」・「人件費増加」が20.7%、「利幅縮小」・「取引先減少」・「地場産業衰退」13.8%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が60.0%と最も多く、次に「販路拡大」40.0%、「宣伝広告強化」・「人材確保」23.3%、「技術力強化」10.0%、「店舗設備改善」6.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は $\Delta 56.7$ と、今期比6.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は $\Delta 43.3$ と、今期比6.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は $\Delta 46.7$ と、今期比3.3ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は $\Delta 6.7$ と、今期比3.4ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は $\Delta 6.7$ と、今期比10.1ポイントの下降を見通している。